

事務事業評価シート

(H.30)No.	1479	(H.29)No.	1479
-----------	------	-----------	------

事務事業名	未来へつなぐ学びの支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462519
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育振興費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	未来へつなぐ学びの支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
子どもの貧困の連鎖を断ち切る取組、また、名張市で進めるコミュニティ・スクールの「学校支援」「地域貢献」の一環として、学校図書館を活用した子どもの居場所づくりを含めた補充学習や、学校で実施する長期休業中の補充学習の充実を図ります。
事業内容

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	H32年度の市内全小中学校においてCSが実施されることに向けた取組として、市内2中学校(名張中学校、南中学校)、2小学校(名張小学校、つつじが丘小学校)をモデル校として、学校図書館に各2名の管理者を置き、夏季休業中に図書館開放を行った。管理者は、学校図書館の管理及び、補充学習サポーターとともに児童生徒の補充学習の支援や相談を行った。 近畿大学工業高等専門学校を補充学習サポーターの学生を補充学習サポーター(名張中学校3名、桔梗が丘中学校2名、南中学校2名)として、平日の放課後等に生徒の学習支援を行った。	学校図書館を活用し、地域に住む大人や子どもが交流する場、または、地域の大人が子どもの学習を支援することで生きがいを見つけ、学び続けられる生涯学習の拠点をつくる。 貧困の連鎖を断ち切り、家庭環境の厳しい児童生徒の学力保障を行う。 (H32年度の市内全小中学校に向けた取組みとして、本年度は、図書館活用をした取組校を市内8校に増加する。また、補充学習サポーターによる、児童生徒の補充学習の支援や相談を行う。)

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	市内小中学校においてCS等の推進状況に合わせて実施する。	市内小中学校においてCS等の推進状況に合わせて実施する。	市内小中学校においてCS等の推進状況に合わせて実施する。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		586千円		1,123千円	617千円	617千円	617千円
内訳(千円)		293		561			
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	293	0	562	617	617	617
人工数		0.21人		0.11人	0.11人	0.11人	0.11人
職員		0.02人		0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,590千円	0千円	866千円	866千円	866千円	866千円
①+②総事業費	0千円	2,176千円	0千円	1,989千円	1,483千円	1,483千円	1,483千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
近年の家族構成の変化、厳しい労働環境、地域・経済格差の進行により、生活に困難を抱える家庭が増加しています。このような環境の下、保護者の学習、読書等の経験が不足することが、子どもの教育機会に影響を与えている状況があります。子どもにとっての教育機会の格差は、学力格差につながり、将来的な経済格差の要因となります。この負の連鎖を断ち切るために、子どもの居場所を創り出し、地域住民との協働のもとに、地域の教育資源である学校図書館を活用して、未来へつなぐ支援を行います。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
地域住民の高齢化が進むなか、学校図書館という交流の拠点をつくることで、生きがいを見出し、生涯にわたって学び続けることができる居場所をつくることは重要なことである。また、貧困等家庭環境の厳しさを抱える児童生徒にとっては、地域の方と温かい交流ができる居場所が、未来へつなぐ学力が保障される機会を得る重要な場になるよう取組を進めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっすくすく計画(第3次) 第3次名張市地域福祉計画